

業への助成制度が盛り込まれており、有効であると感じました。また、市内の金融機関を通じて、預託金制度による金融面からの支援も行われています。

松浦市でも中小企業振興の要望等もあることから、早急な条例整備を図るべきだと感じました。



北見市

【網走市】

網走市は、平成6年に近隣4市町とともに「オホーツク北網地方拠点都市地域」に指定され、オホーツク圏の中核都市として発展を続けています。

オホーツク海に面し、一年を通じて晴天が多く、年間の降水量、降雪

量は少なく、毎年1月中旬頃には流氷が到来しています。

主要産業は、畑作と酪農が主体の農業とオホーツク海や湖沼での漁業、水産加工業からなっています。

また、観光業も地域産業の柱となっており、オホーツク沿岸の景観を活かして、冬に客を呼びこむためにオホーツク流氷館を設立したり、流氷観光砕氷船おーろら号が就航するなど冬の観光を確立させています。

昭和22年2月11日に市制を施行し、人口約3万8千200人を有します。

【調査概要】

あばしり旅プランコンペ事業は素晴らしい発想だと感じました。この事業は、網走市に若者呼びたい、修学旅行生を呼びたいといった流入人口増を目的としたもので、その対象として大学生に自分たちが行きたい旅プランを提案させるといった方法でした。全国各地の大学から応募があり、そのことだけでも網走市を若者に知ってもらおうという目的の一部が達成できたのではないかと思います。また、若者の発想を取り入れることで、地元の人には見えていない網走市の魅力を発見できたのではないかと思います。

松浦市には体験型観光で多くの修学旅行生が来ています。網走市の取り組みをヒントに、体験者の発想を

取り入れるような仕組みができないか検討することもおもしろいのではないだろうかと思いました。それにより松浦の魅力に付加価値を与えることにつながるかと考えられます。例えば鷹島神崎海底遺跡などの見学にオプショナルツアー等を考案し、観光地としての魅力アップを図ることができるのではないかと感じました。

特別委員会の動き

道路網整備促進
特別委員会

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、10月31日に国土交通省九州地方整備局長に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の整備促進及び松浦佐々間の早期事業化についての要望活動を行いました。

平成25年度道路予算の概算要求が平成24年度との比較で9パーセントの減と、非常に厳しいレベルであることから、整備局においても予算確保に向けて最大限の努力をしていくとのことであります。

松浦市内での西九州自動車道の進捗状況は、山代今福間では若干用地買収ができていないところがあるものの、平成26年度の供用に間に合うように進められており、また、今福調川間においても用地買収や埋蔵文化財の調査及び平尾トンネルの工事年度の予定が発表できるところまで



網走市